

会 議 録

会議名		令和元年度 第5回 大野北地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)		中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512			
開催日時		令和元年11月18日(月) 19時00分～19時45分			
開催場所		大野北公民館 大会議室			
出席者	委員	14人 (別紙のとおり)			
	担当課等	3人	公民館館長代理 ふちのべ星援隊		
	事務局	3人	まちづくりセンター所長、同主査、地域活力推進員		
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数
		0人			
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由					
会議次第		1 あいさつ 2 議 題 地域活性化事業交付金について 3 出席委員からの情報提供 4 その他 次回日程について 5 閉 会			

審 議 経 過

1 開 会

小川副会長あいさつ
(以後進行は小川副会長)

2 議 題

地域活性化事業交付金について

事業名 伝統文化とのコラボレーションによる地域活性化事業【新規】

申請団体 ふちのべ星援隊

申請額 450,000円

事業概要 大野北地区には複数の大学が立地していることやJAXA相模原キャンパスの最寄り駅であること、図書館、地区公園があることなど、市内でも文化的な色合いの濃い地区である。

このため、地域の活性化を図る取り組みにおいても、日本古来の伝統文化とコラボレーションすることにより、大野北地区の特性を踏まえた特色のある地域活性化事業ができるのではないかと考えた。

内 容 実施日：12月14日(土)

世界文化遺産に指定された「なまはげ」によるパフォーマンスとなまはげ太鼓の披露、餅つき大会

・午後2時：公民館大会議室でのパフォーマンス披露

・午後4時：淵野辺駅デッキ下でのパフォーマンス披露

・広 報：大野北地区内の幼稚園、保育園にパンフレットを配布

結 果 採用すべきもの

<主な意見、質疑> (委員の発言 申請団体の発言)

今後(次年度以降)全国のどのような伝統文化を披露する予定で、事業展開を考えているのか。

事業初年度としては、インパクトがあるものをとということで、なまはげを披露することを考案した。来年度については、正月の伝統行事である獅子舞いを披露したいと考えている。また、再来年については、2年の実績を踏まえた上で、地域の皆さんの意見を取り入れたものを実施できたらと考えている。例えば、商店会の協力のもと、駅デッキ下で盆踊りを行うことも一案である。この事業を通じて、若い世代に伝統文化を体験してもらい、地域の伝統文化にも関心を持ってもらうためのきっかけとなれば幸いである。

この事業は、何を達成することを目的としているのか(大野北地区を活性化させるために、どのようなことを定着させたいのか)

持続可能なまちづくりという観点から、毎年、何らかの事業を継続して実施することが大切なことと考えている。もし、獅子舞いや盆踊りが好評で恒例行事となれば、経費の関係もあるが、毎年継続していきたい。特に、今回の事業は、子ども達に対してもそうであるが、保護者に対しても何らかの影響を与えられればと考えている。また、この事業を継続して実施することで、淵野辺(大野北地区)は、毎年、何か面白いことを行うまち(地区)であるということを知ってもらいたい。

申請団体と商店会とは、大野北銀河まつりなどの事業を互いに協力しながらで実施しているところであるが、今回の事業については、伝統的な文化行事を生で体験できる絶好の機会であり、非常に興味深い。相模原市は、北海道大樹町、秋田県能代市、岩手県大船渡市、宮城県角田市、長野県佐久市、鹿児島県肝付町と、5市2町で銀河連邦を構成しており、各市町間で様々な文化交流を行っている」と承知している。銀河連邦での文化交流もそうであるが、他都市（秋田県男鹿市）との文化交流も同じく必要なのではないかと考える。

- 市内の代表的な伝統行事の継承も大切であると考えますが、地区の伝統行事の継承も同じく大切であると考えます。例えば、お神輿に関して言えば、自治会によっては、子ども神輿があるが、実際問題として少子化の影響で担ぎ手が不足しており、保護者も一緒に担いでいるのが現状である。このことを考慮すると、この事業は、子ども達のために行うものであり、伝統行事の継承者を育成するためのきっかけづくりになると思われる。

何故、12月中旬に実施するのか。また、経費の精査が必要ではないか。

なまはげは、元々1月15日の小正月に行われていたが、戦後になり大晦日に行くようになった。世界文化遺産に登録されてからは、なまはげに関連するイベントが1月に実施される場合が多くなったとのことである。従って、この事業についても、大晦日から小正月の間に行うのが理想であると考えたが、演者のスケジュール等の都合上、大晦日に比較的近い12月中旬に実施という提案をさせていただいた。また、経費の精査については、演者の旅費等は、最も効率的な公共交通機関を利用した費用であり、機材（太鼓）の運搬費やパンフレットの印刷費は、低額のものを選択するなど、必要最低限の経費のみを計上させていただいたところである。

3 出席委員からの情報提供

(1) 青山学院大学 平井委員

ア 2019 クリスマス・ツリー点火祭

日時 11月29日(金)午後4時40分から

場所 同大学ウェスレー・チャペル前

イ **特別展示**「相模原キャンパスの15年」

期間 11月15日(金)から12月24日(火)まで

場所 青山キャンパス 間島記念館2階 展示室4

同時開催企画「写真で振り返る相模原キャンパスの15年」

期間 11月15日(金)から12月13日(金)まで

場所 相模原キャンパス F棟1階 学生ラウンジ内

ウ 青山学院創立145周年記念演奏会

日時 12月7日(土)午後2時から

場所 同大学ウェスレー・チャペル

(2) 大野北第1高齢者支援センター 古明地委員

ア 健康寿命！ 高齢者におきやすい低栄養の予防

日 時 11月27日(水) 午前10時から

場 所 相模野病院 7階 講堂

イ 大野北第1ここから始まる“ちえ”講座 令和元年度 第5回

チャレンジ！ 介護予防体操

日 時 12月4日(水) 午後2時から

場 所 第5SKビル 2階

(3) にこにこ星ふちのべ商店会 萩生田委員

イルミネーション点灯式が、11月22日(金) 午後6時から淵野辺駅北口デッキにて開催されること、また、「親子で星空を眺める会」(青少年健全育成協議会後援事業)が、12月1日(日) 午後6時30分から公民館大会議室で開催されるとの紹介が口頭であった。

4 その他

次回日程について、会場である公民館大会議室の予約状況を委員へ提示し、開催する場合は、別途、開催通知を送付する旨を報告した。

また、延期となったまちづくりを考える懇談会については、市事務局の市民協働推進課と秘書課で日程を調整中であるため、決まり次第、改めて連絡する旨を報告した。

5 閉 会

飯田幹事が閉会

以 上

令和元年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者名簿

	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信 郎	大野北地区自治会連合会	欠
		大野北地区社会福祉協議会	
2	飯 田 秀 雄	大野北地区自治会連合会	出
3	林 知 治	大野北地区自治会連合会	出
4	脇 山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	欠
5	小野澤 行 雄	大野北地区社会福祉協議会	欠
6	小 川 紳 夫	大野北公民館	出
7	田加井 政 男	交通安全協会	出
8	荻 原 ますみ	大野北地区交通安全母の会	欠
9	原 田 武 久	大野北地区老人クラブ連合会	出
10	宮 崎 誠 生	相模原市消防団中央方面隊第三分団	欠
11	内 田 清	さがみはら国際交流ラウンジ運営機構	欠
12	小 方 明	大野北青少年健全育成協議会	欠
13	清 水 博 登	青少年指導員大野北地区協議会	出
14	村 田 明 夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	出
15	中 山 章 治	小学校	欠
16	田 尻 和 宏	中学校	欠
17	渡 部 弥 生	小・中学校PTA	出
18	平 井 昇	青山学院大学	出
19	河 本 真 治	桜美林学園	欠
20	白 石 一 郎	麻布大学	出
21	神 谷 恵 子	福祉グループ「輪」	出
22	古明地 香奈子	大野北第1高齢者支援センター	出
23	木 幡 一 博	大野北第2高齢者支援センター	出
24	萩生田 康 治	にこにこ星ふちのべ商店会	出
25	渡 辺 章	淵野辺駅南口商栄会	欠
26	篠 崎 雅 夫	相模原市農業協同組合淵野辺支店	欠

令和元年度 第5回大野北地区まちづくり会議

日 時 令和元年11月18日(月)
午後7時から
場 所 大野北公民館 1階 大会議室

次 第

1 あいさつ

2 議 題
地域活性化事業交付金について

3 出席委員からの情報提供

4 その他
次回日程について(開催予定日 : 公民館大会議室の予約状況)
○令和元年12月16日(月)
○令和2年 1月20日(月)
○令和2年 2月17日(月)
○令和2年 3月16日(月)

次回日程は未定ですが、開催する場合は、別途、開催通知を送付します。

以 上

令和元年度 大野北地区まちづくり会議委員及び役員

令和元年8月19日現在

1 委員(大野北地区まちづくり会議会則 第4条別表第1)

	氏名	所属団体等の名称	役職名
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	会長
		大野北地区社会福祉協議会	会長
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	副会長
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	副会長
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	会長
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	会計
6	小川 紳夫	大野北公民館	館長
7	田加井 政男	交通安全協会	理事
8	荻原 ますみ	大野北地区交通安全母の会	会長
9	原田 武久	大野北地区老人クラブ連合会	会長
10	宮崎 誠生	相模原市消防団中央方面隊第三分団	分団長
11	内田 清	さがみはら国際交流ラウンジ	部長
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	会長
13	清水 博登	青少年指導員大野北地区協議会	委員
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	委員
15	中山 章治	小学校	淵野辺小学校校長
16	田尻 和宏	中学校	共和中学校副校長
17	渡部 弥生	小・中学校PTA	大野北中学校PTA副会長
18	平井 昇	青山学院大学	相模原事務部庶務課長
19	河本 真治	桜美林学園	地域社会連携室兼校友課課長
20	白石 一郎	麻布大学	総務部 地域連携課長
21	神谷 恵子	ボランティアグループ	福祉グループ「輪」代表
22	古明地 香奈子	大野北第1高齢者支援センター	センター長
23	木幡 一博	大野北第2高齢者支援センター	センター長
24	萩生田 康治	にこにこ星ふちのべ商店会	会長
25	渡辺 章	淵野辺駅南口商栄会	役員
26	篠崎 雅夫	相模原市農業協同組合淵野辺支店	支店長

2 役員(同会則 第6条別表第2)

役職	所属団体等の名称	氏名
会長	大野北地区自治会連合会会長 大野北地区社会福祉協議会会長	山口 信郎
副会長	大野北地区民生委員児童委員協議会会長	脇山 寿満子
副会長	大野北公民館館長	小川 紳夫
幹事	大野北地区自治会連合会副会長	飯田 秀雄
幹事	大野北地区自治会連合会副会長	林 知治

令和元年度地域活性化事業交付金 申請事業個票 【大野北地区】 3

事業名	伝統文化とのコラボレーションによる地域活性化事業		新規 継続(年目)
申請団体名	ふちのべ星援隊	代表者名	藤澤 昌幸
申請団体について	淵野辺を愛し、淵野辺の活性化の一助になればと、商店主、元PTA役員、青少年指導員など多岐にわたるメンバーで構成		
事業の背景	<p>大野北地区には複数の大学が立地していることやJAXA相模原キャンパスの最寄り駅であること、図書館、地区公園があることなど、市内でも文化的な色合いの濃い地区である。</p> <p>このため、地域の活性化を図る取り組みにおいても、日本古来の伝統文化とコラボレーションすることにより、大野北地区の特性を踏まえた特色のある地域活性化事業ができるのではないかと考えた。</p>		
事業の目的	<p>文化的な要素を取り入れた特色のある地域活性化を目的として、初年度は世界文化遺産にも登録されている民俗行事である「なまはげ」を大野北地区内の子ども達に体験してもらい、地域文化への興味や地域愛の醸成を図るとともに、なまはげ太鼓の披露や餅つきなど、幅広い世代の地域住民が気軽に参加でき、住民同士の交流が促進されるイベントを開催する。</p>		
事業内容	<p>○実施日(予定)：令和元年12月14日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産に指定された「なまはげ」によるパフォーマンスとなまはげ太鼓の披露、餅つき大会 ・午後2時～(予定)：公民館大会議室でのパフォーマンス披露 ・午後4時～(予定)：淵野辺駅デッキ下でのパフォーマンス披露 ・広報については、大野北地区内の幼稚園、保育園にパンフレットを配布する 		
総事業費	450,000円	申請額	450,000円
対象経費	費目	金額	説明
	謝礼	360,000円	出演料(4名×90,000円)
	音響費	50,000円	音響機材賃借料
	印刷製本費	30,000円	大野北地区内の園児にパンフレットを配布
	諸経費	10,000円	通信費、消耗品費等
補足説明			
審査基準	審査項目	審査の視点	
	事業目的や内容の公共	地域課題の解決や地域の活性化に資する事業か	
	事業内容の妥当性	事業内容が現実性のあるものか	
		事業計画のスキームが適切か	
		事業収支が事業を遂行する上で適正か	
	団体の事業実施能力	事業を実施する能力や主体性があるか	
	事業の継続性や発展性	事業の継続性や発展性があるか	
		これまでの取組みの成果が生かされているか	
	他の団体への影響	他の団体へ活動を促すなど、良い波及効果を与えるような事業か	
継続効果(1)	継続することで、さらに地域の活性化につながる成果が得られるか		
継続効果(2)	3年間では、目的が未達成だが、継続することで達成できるか		
2分の1を越えた交付率の適用	まちづくり会議において、地域課題として議論がされているか		
結果	積極的採用	採用すべき	要調整